

《担当者名》工藤禎子 [cxm02601@hoku-iryu-u.ac.jp]

**【概要】**

ライフサイクルや健康課題、地域の特性に応じた個人・集団・コミュニティにおける看護活動に関して、研究的視点とエビデンスを追求する。また、支援システムを開発する力の向上をめざし、文献講読、活動場面への参加観察と記述、既存資料や記述の分析、報告やディスカッションを実践的に行いながら学びを発展させる。

**【学修目標】**

- 1) ライフサイクルや健康課題、地域の特性に応じた個人・集団・コミュニティにおける看護活動に関して、研究的視点とエビデンスを説明できる。
- 2) 自身のテーマに関する地域の健康課題と支援システムの開発方法を述べられる。
- 3) 文献講読、活動場面への参加観察と記述、既存資料や記述の分析が行える。
- 4) 分かりやすい報告（資料作成）やテーマに沿ったディスカッションを行える。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 5	コミュニティのアセスメント、支援、評価	1. コミュニティアズパートナーモデルの理解 2. コミュニティのアセスメントの意義 3. コミュニティのアセスメントの方法 4. コミュニティの健康課題の特定化 5. コミュニティのアセスメントから支援へ	工藤
6 ） 10	地域包括ケアシステムの構築の実際	1. 地域包括ケアシステムの理解 2. 地域における社会資源の開発と有効な活用 3. 地域包括ケアシステムの構築の実際	工藤
11 ） 15	ソーシャル・キャピタルの醸成と看護の役割	1. ソーシャル・キャピタルの概念 2. ソーシャル・キャピタル醸成を要する社会的背景 3. ソーシャル・キャピタルと看護の役割 4. ソーシャル・キャピタルの評価 5. ソーシャル・キャピタルの推進と地域看護活動	工藤

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

プレゼンテーション（見やすい資料・わかりやすい説明）40%、参加状況（準備・質疑）30%、レポート30%により、総合的に評価する。

**【教科書】**

適宜、文献を紹介する。

**【参考書】**

1. 日本地域看護学会誌
2. 日本在宅ケア学会誌
3. 日本公衆衛生看護学会誌
4. 看護研究
5. 保健師ジャーナル
6. Public Health Nursing 等の学会誌及び専門誌

**【学修の準備】**

- ・ 文献、情報の検索，収集，整理
- ・ 読解とポイントの整理
- ・ 見やすく分かりやすい資料の作成，プレゼンの練習